

佐倉市公共施設の適正な配置に関する市民アンケート：集計結果(概要版)

- 市民アンケートは広く回答を募るため、回答者を限定した郵送によるアンケート票配布に加えて、誰でも回答できるQRコード公表によるWEB専用アンケートの2つの方法で実施し、**合計有効回答数は1180件**でした。

資料1

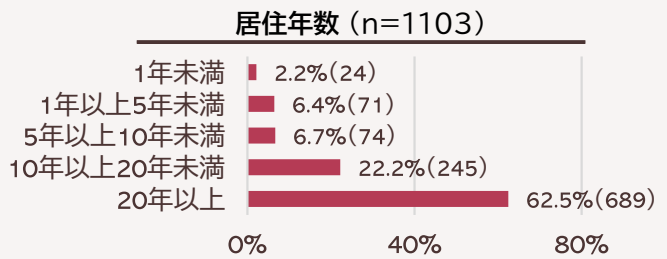
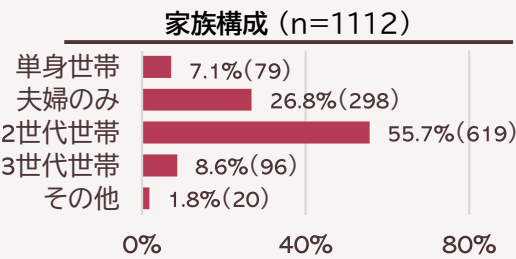
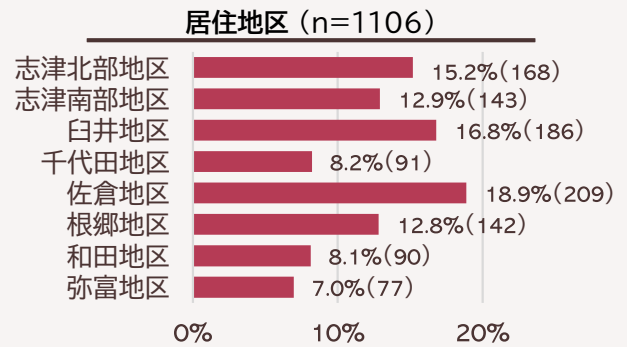
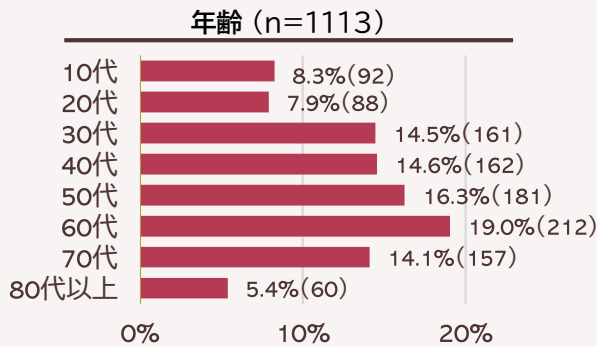
実施方法	回答方法	有効回答数	配布数	回収率
郵送アンケート	郵送回答・WEB回答	912	3,000	30.4%
WEB専用アンケート	WEBからの回答	268	—	—

※ 設問により回答がなかったアンケート票があるため、有効回答数と回答数は必ずしも一致しません。

※ 以下グラフの()内は回答数となります。

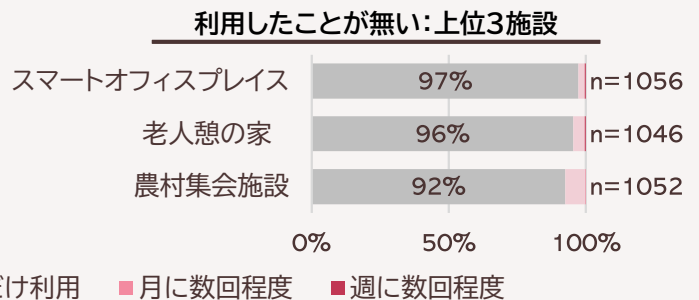
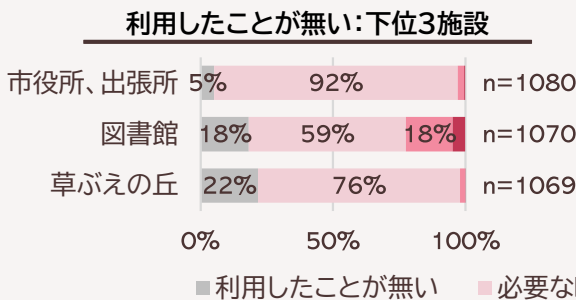
1 回答者の属性

- 年齢は、**60代**が最も多く、全体の**約19%**を占めています。一方で、**10代、20代、80代以上**の回答者数は比較的少なく、いずれも全体の**10%**に達していません。
- 家族構成は、**2世代世帯**の回答者が最も多く、全体の**約56%**を占めています。
- 居住地区は、**佐倉地区**が最も多く、全体の**約20%**を占めています。回答者が最も少ないのは**弥富地区**で、全体の**約7%**です。
- 居住年数は、**20年以上**が最も多く、全体の**約63%**を占めています。



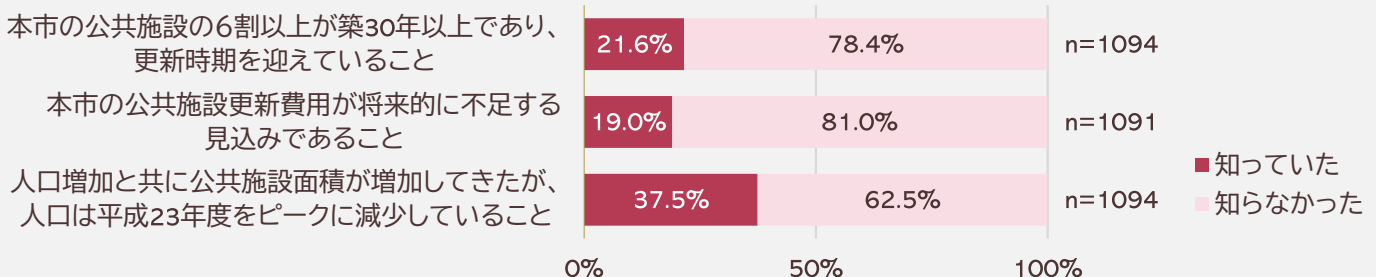
2 公共施設の利用状況

- 「図書館」の利用頻度は、比較的高い傾向にあります。
- 「スマートオフィスプレイス」、「老人憩の家」、「農村集会施設」は、**90%以上**が利用したことがないと回答しています。



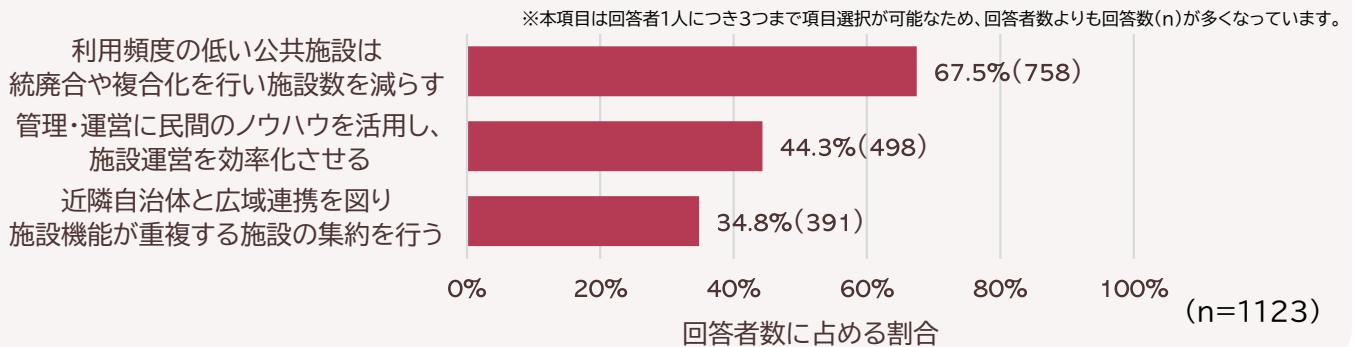
3 佐倉市公共施設の現状と課題の認知度

- いずれの項目も、「知らなかった」を選択した回答者が多くなっています。特に、「本市の公共施設更新費用が将来的に不足する見込みであること」を知っていると回答したのは、全体の**約19%**でした。



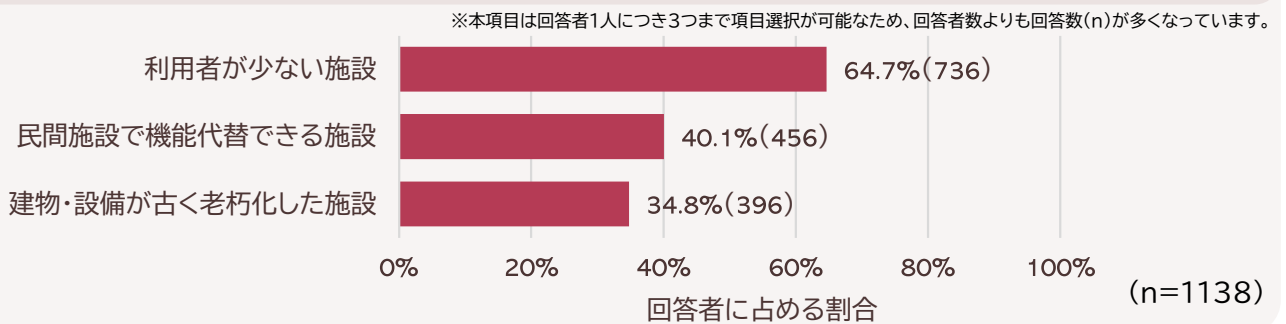
4 公共施設を適切に維持するためにどうすべきか：上位3項目 (n=1123)

- 最も多く選択されたのは、「**利用頻度の低い公共施設は統廃合や複合化を行い施設数を減らす**」で、全体の約**68%**が選択しています。
- 2番目に選択されたのは、「**管理・運営に民間のノウハウを活用し、施設運営を効率化させる**」で、全体の約**44%**が選択しています。
- 3番目に多く選択されたのは、「**近隣自治体と広域連携を図り施設機能が重複する施設の集約を行う**」で、全体の約**35%**が選択しています。



5 将来的に削減を検討していくべき施設：上位3項目 (n=1138)

- 最も多く選択されたのは、「**利用者が少ない施設**」で、全体の約**65%**が選択しています。
- 2番目に選択されたのは、「**民間施設で機能代替できる施設**」で、全体の約**40%**が選択しています。
- 3番目に多く選択されたのは、「**建物・設備が古く老朽化した施設**」、全体の約**35%**が選択しています。



6 公共施設の行政サービス機能に対する考え：上位3項目 (n=1038)

- 「**優先的に維持・充実すべき機能**」として、最も多く選択されたのは「**保健・医療機能**」で、全体の約**53%**が選択しています。次いで「**教育文化機能**」、「**子育て支援機能**」が多く選択されています。
- 「**将来的に縮小・統廃合すべき機能**」として、最も多く選択されたのは「**学生交流機能**」で、全体の約**45%**が選択しています。次いで「**地域交流・集会機能**」、「**観光・産業機能**」が多く選択されています。
- 「**民間サービスに移行すべき機能**」として、最も多く選択されたのは「**レクリエーション機能**」で、全体の約**50%**が選択しています。次いで「**観光・産業機能**」、「**スポーツ機能**」が多く選択されています。

